

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: パシフィックコンサルタンツ株式会社 熊本事務所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ISO14001を取得している。 ・熊本事務所も対象事務所の一つであり全社ルールに則った活動を実施している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・熊本事務所のエネルギー使用量(料金含む)を毎月把握し、共有する事により、各自の意識を上げ、オフィスの節電に取り組んでいる。 ・社用車利用を極力抑え、公共交通機関の利用を優先している。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		【予定】事務所としての排出量の把握を2022年10月より開始する。 ・社用車利用を極力抑え、公共交通機関の利用を推進している。 ・事務所員の通勤手段も自家用車は禁止し公共交通機関のみとしている。			2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業活動を通じて、生物多様性の保全や環境に配慮した建設コンサルティングサービスを提供している。						6.6										14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・社内会議においてペーパーレス化の促進及び裏紙使用の徹底による資源有効活用を実践している。										9.4			12.2 12.4 12.5			14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水や汚水等の適切な処理を実施している。 ・熊本事務所も環境省からの委託業務を通じ熊本水資源の保全に取り組んでいる。(熊本県内地下水硝酸対策調査検討を実施中)			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5				14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・環境に配慮した社会インフラの計画・設計、材料、工法の開発や提案に取り組んでいる。											9.4		12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●				1	2			6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●														11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・帰社時のPCシャットダウンの徹底、昼休み時間の消灯の実施。 ・ハイブリッド車を導入している。 ・業務を通じ、自治体への再エネ導入支援を実施している。(小国町等)								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●														12.2 12.5			14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・環境及び安全面から、通勤・出張は公共交通機関の利用を基本ルールとし、実践している。											9.4		11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・社の方針として、事業活動を通じ2050年カーボンニュートラルの実現に貢献する事、2030年迄に自社のカーボンニュートラルの実現を宣言しており、熊本事務所員も定期的な意識向上の研修を受講している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

